

別府ツーリズムバレー構想推進協議会

【開催日時】 2023年5月25日(木) 10時00分～11時30分

【開催場所】 別府市役所1階 レセプションホール

【参加者】

○委員(17名(内3名代理))

太神 みどり、神野 康弘、樹下 有斗、倉原 浩志、坂井 伸任、末崎 博樹、関谷 忠、
千壽 智明、永松 秀基、中山 昭則、西田 陽一、橋本 栄子、牧 昌生、宮脇 恵理
(代理)田島 怜子、小野 美佐子、帆足 杏一

○事務局等 別府市観光・産業部長、産業政策課長 外6名

【新任委員紹介】 太神委員、中山委員

【会長あいさつ】 関谷会長

【概要】

(1)第1号議案について一括説明

≪事務局長より説明≫

≪委員より質疑≫

質疑等なし

(各委員からの意見等)

・皆さんコロナ明けでだいぶ起業意欲が増してきていると思う。経営革新の取り組み状況は、相談自体は結構あったが、まだコロナが明けるまでは様子を見たいというような方が結構いた。

・令和4年度創業融資の実績は、前年比で大分県は140パーセント、非常に多い状況で、活性化しているという状況である。創業に対する意欲、実際にそういう風に踏み出す方が、土壌としては、かなり厚くなってきていると思うので、それに乗じて私どもも一生懸命やっていきたい。

・起業に挑戦する方の発表する機会が福岡等ニュービジネスが盛んなところと比べて、大分県は少ないというご意見もあったので、銀行として、ビジネスコンテストを主催した。銀行として、いろいろな機関と提携しながら、育てていくことを目的に広げていきたいと思う。ツーリズムバレー構想ともリンクできればよいと思っている。

・既存の事業、プラスアルファの新しい事業をやるというような形が増えてきていると感じている。事業承継のお話も、今年度約5倍とすごく増えている。後継者のいない方の、次のステップ、事業

を引き継ぐというステージも入っているのです、そこら辺も金融機関を含めて支援をしないとけない状況になっていると現状として感じている。

・創業が就職も含めて、いろんな選択肢の1つに当たり前になってきたという印象。創業時の相談のレベル感でいくと、なかなか将来の事業計画をしっかりと見据えたというところがまだまだない。専門的な知識を蓄えていながら、少しでも将来3年後、5年後も続いていけるようなアドバイスをしていこうと思っている。学生さんの創業育成するようなところを含めて、専門機関がやられているような事業に積極的に関わり、少しでも別府の観光が盛り上がっていけばいいなと思い、支援を続けている。

・留学生の場合も、コロナ禍でも、創業の意欲が止まったかという点、そうではなかった。創業した後の、外国人の事業がコロナ禍で、止まってしまったというのが課題であった。別府で起業された方々がインバウンド対策であるとか、留学生、外国人と協働する何かというようなご相談があれば、もちろん積極的に受け入れていきたい。

・みなさん色々やっているのです、B-biz LINKがハブになり、いろんなところに顔を出して、いろんな情報を取ってきて、自分たちでその辺に絡んでいくということが1つのキーワードになる。

各委員承認

(2)第2号議案について一括説明

≪事務局長より説明≫

≪監事より会計監査報告≫

≪委員より質疑≫

質疑等なし

各委員承認

(3)第3号議案 (4)第4号議案について一括説明

≪事務局長より説明≫

(各委員からの意見等)

・大学と連携してやった事業はないが、直接個人的に先生とか学生さんとかに声かけして事業を実施した。

・専門部会が今、金融とスタートアップになっているが、人材育成というところで、何か考えられないかなど。ぜひ、大学が入って、B-biz LINKと連携しながら何かできないかなどということを考えてもらいたい。

・週1回、地域創生プロジェクトという授業を作りました。各企業の担当者の方を呼んで、実際に学生と参加していただいている企業さんと交流をしたり色々教をいただいている。

・観光業への就職っていう意味で言うと、留学生の意欲が非常に高い。最近進学よりも就職したい留学生が多く、希望地域は圧倒的に大分県で、できれば別府で就職したい。留学生は、9月に卒業するので、日本の一般的な雇用という意味で言うと、ほとんど、3月卒業生を相手にし

ているので、なかなか留学生の就職っていうのは難しいと言うか、機会が少ない。地元で就職したいが、地元企業からの求人はほとんどない。マッチングがうまくいっていない。地元企業、観光業の方含めて、飲食業も含めて、なぜ留学生を求人しないのかなと思う。温泉コンシェルジュの育成をやっていて、即戦力としても働けると思うが、求人もこないし、アプローチもない。留学生は9月に卒業するので、中途入社みたいになると思うが、そういうことも地元企業として考えてほしい。

・別府の特色である、学生が多い、留学生が多い、だから、マッチングシステムを作って、事業者の方からこういう人材を、学生の方からはこういうところで働きたいという風に、そのマッチングシステムをどこがどう働きかけていくのかということもB-biz LINKの方でも検討してもらおうとよい。

・先進的な企業であるとか、本当に人材が困っているところは、新卒採用をやめて、通年でいつでも優秀な人がいれば採用しますという企業も増えてきつつあるので、皆様方の企業でもぜひ、留学生を人材として、門戸を開いていただけるといいと思う。昨年度から県の委託事業で留学生のインターンシップを行い、昨年度約80件大分県内企業にインターンシップを送り出した。有償インターンシップで、1日でもいいが、できれば複数日数で、5日間分までは助成金が出るので、ぜひ活用いただきたい。

・B-biz LINKの方で直接やらなくても、そういう情報を集めておいて、提供していくということも大事である。

・我々の課題はまさに人材不足。ただ、人材不足と言っても、各旅館によって時間帯によって、こういう人材が欲しいとか、こういう場所に欲しいとか要望がある。おそらく募集がないのは、全体的に欲しいということではなくて、この時間帯がかけているとか、そういうところになっている。マッチングさせていただければ、我々も非常にありがたいので、ぜひ情報のご提供をお願いしたい。

・お客様は戻ってきているけれども、人が足りないから、なかなか稼働させることができなくて、お迎えすることができない。そんな中で明るい情報が、留学生がまだ別府で就職したいという気持ちがあって、むしろ探していらっしゃるといのは、本当に驚くぐらいのことだった。こんなにギャップがあいていたのだなということに驚いたのだが、情報をいただきながら、こちらもそういうところに情報を流していかなければと思う。私自身は今どうやったらこの事業を続けていくことができるだろうと、ほんとに小さなところしか見えていない状況である。

・事業をいかに継続させていくかが一番の課題。そうした面で、部会のあり方も金融部会の中を少し整理して、先ほどの創業、経営革新、それから事業承継、そして経営改善のところになってくると思うが、この辺少し整理して、部会を金融部会で構わないので、中を区切って議論をしてもらいたいという感じがしている。

・留学生とマッチングの機会があれば、しっかりと我々も積極的に情報収集したいと思っている。

・コロナ前よりお客様の数は増えているような気がするので、これを特殊で終わらせずに、しっかりと定着させていきたい。

・事業承継について、次の人材がちゃんと後継ぎとして、事業承継をしようと思えるような、そういう支援というのが大事だと思っている。大分県では跡継ぎの人たちが集って、切磋琢磨する研修プログラムがあり、すごく良いなと思っている。同じような環境、同じような年代、悩みとか課題も一緒であるので、コミュニティのような、何か別府ならではのものもできるといいなと思う。

・子育てについて、育児に向き合っている、女性なり、男性なりが働きやすい風土があるといい。令和モデルになるような先進的なローカルな街になっていくといい。そうするとより仕事に対してよりエンジンもかかるし、子育てもエンジンがかかると思う。

・元々別府で創業したところの一番の思いは、APU出身なので、APUというところがすごく強かったので、正面から取り組むような事業を昨年からはじめて、学生の関わりも増やすために協賛をしながら、昨年で延べ2,000名以上が関わるようなイベントを毎月のように実施した。学生もすごくやる気があるが、一方で、彼らだけに任せていると、やっぱり難しい。というのは、ビジネスモデル作っていくのは、ある意味専門領域の部分もあると思う。そういうところを彼らだけに任せるのではなくて、やれるところを分けていったら、すごくいいのではないかと思っている。事業作りするのがデータの収集、そこからの課題の抽出、その課題から関わりがある方々で話し合っただけでビジネスモデルを作る。そこにやる気がある若者が手を挙げる、そこにお金を投資する資本、この5つを分けることによって、難易度も下がって、かつ関わりが増えて、関係人口としても増えるのではないかと。この辺をAPUの卒業生とともに、巻き込みながら別府に関わってくれる人を増やして、別府で創業していく人が増えていったら、面白いなと今は感じている。

・通常はアートイベントの開催をして、昨年からは長期展示できる作品の制作に切り替えた。町の中を歩くと、偶然出会うことができるアート作品を増やしている。別府の皆さんに、こういった作品がこれから増えていくということを知っていただいて、ぜひ、いろんなところでご紹介いただくと嬉しい。

・昨年、元の南部児童館にTRANSIT(トランジット)という施設を開設した。2009年から2016年までの間に別府に移住してきたアーティストが120名を超えている。それが2016年の数字なので、現在はもっと増えている。これを新たな資源として捉えられないかということで、デザイン経営といったところに、こういった活力を活用していただきたいと思い、ビジネス相談をお受けして、お悩みとか、課題に対して、プレイクスルーできるような提案をできる、アーティストなどそういった方をご紹介するという事業を展開している。起業・創業というよりは、中間の基盤強化であるとか、事業展開の時に今までになかったアイデアを付加していくというところで、非常に大きな効力を発揮するのではないかと考えている。

・別府市は、別府に関わりたいと思う起業家もより多く受け入れてくれることから女性起業家も、大変興味・関心を持っている。特にB-biz LINKで年間を通して、たくさんの事業が開催されているので、そちらの方にも参加させていただいて、継続的な支援をしていただいていることに、本当にいつも感謝をしている。B-biz LINKを通して、この事業者さんを紹介してくださいと言った時に、それが断られることとか叶わないことはないが、皆さんと一緒に会えるような機会がなかなかないので、そういう機会がいつかできるとよりいいなと思っている。

各委員承認(各委員の意見を踏まえ、施策を考えるということを付記)

(4)閉会